2026年11月10日

各　位

会社名　岩谷産業株式会社
代表者名　代表取締役社長兼CEO　間島　寛
（コード番号：8088 東証プライム市場）
問合せ先　経理部長 植田　康稔
（TEL：06－7637－3325）

連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2026年５月14日に公表しました2027年３月期通期（2026年４月１日～2027年３月31日）の連結業績予想を修正するとともに、中間配当及び期末配当予想を修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．連結業績予想数値の修正

（１）修正の内容

2027年３月期通期（2026年４月１日 ～ 2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	960,000	48,800	59,000	45,500	197.67
今回修正予想（B）	990,000	57,000	68,500	49,100	213.29
増　減　額（B－A）	30,000	8,200	9,500	3,600	－
増　減　率（%）	3.1	16.8	16.1	7.9	－
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	908,522	38,318	55,220	47,666	207.10

（２）修正の理由

中東情勢を背景としたエネルギー価格の高止まり等、依然として先行き不透明な状況が続いています。このような中、産業ガス・機械事業において、市況上昇に伴うヘリウムの収益性改善に加え、脱炭素関連の需要増加や半導体・電子部品業界向けを中心とした各種ガスの拡販を見込んでおります。また、総合エネルギー事業においても、ＬＰガスの収益拡大が見込まれることから、上記の通り、上方修正いたします。

（ご参考）コスモ影響を除く通期業績予想数値

単位：百万円

	前回発表予想（A）			今回修正予想（B）			増減額（B－A）		
	予想値	コスモ影響	コスモ除く	予想値	コスモ影響	コスモ除く	予想値	コスモ影響	コスモ除く
売上高	960,000	－	960,000	990,000	－	990,000	30,000	－	30,000
営業利益	48,800	－	48,800	57,000	－	57,000	8,200	－	8,200
経常利益	59,000	8,800	50,200	68,500	8,800	59,700	9,500	－	9,500
親会社株主に帰属する当期純利益	45,500	8,100	37,400	49,100	8,100	41,000	3,600	－	3,600

（注）１　当資料ではコスモエネルギーホールディングス株式会社につきまして、「コスモ」と略称して表示しております。

（注）２　コスモ影響の親会社株主に帰属する当期純利益には、コスモの持分法投資損益及びコスモの留保利益に係る法人税等の影響が含まれております。

２．剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想修正

（１）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決　定　額	直近の配当予想 （2026 年５月 14 日公表）	前期実績 （2026 年３月期中間）
基　準　日	2026 年９月 30 日	同左	2025 年９月 30 日
１株当たり配当金	26 円 00 銭	23 円 50 銭	23 円 50 銭
配当金総額	5,991 百万円	－	5,414 百万円
効力発生日	2026 年 12 月 14 日	－	2025 年 12 月 15 日
配 当 原 資	利益剰余金	－	利益剰余金

（２）期末配当予想の修正

	１株当たり年間配当金（円）		
	第２四半期末	期末	合計
前回発表内容 （2026 年 5 月 14 日発表）	23 円 50 銭	23 円 50 銭	47 円 00 銭
今回修正予想	－	26 円 00 銭	52 円 00 銭
当期実績	26 円 00 銭	－	－
前期実績 （2026 年 3 月期）	23 円 50 銭	23 円 50 銭	47 円 00 銭

（３）修正の理由

当社の利益配分につきましては、継続的かつ安定的な配当により株主の皆様へ還元すると同時に、成長戦略を支えるための投資等に活用し、企業価値の最大化を図ることを基本方針としています。

この方針に基づき、業績の状況等を踏まえて検討した結果、中間配当金を１株につき２円 50 銭増配の 26 円 00 銭とし、期末配当予想につきましても１株につき２円 50 銭増配の 26 円 00 銭といたしました。

（注）上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上